

地域とともに育つ コミュニティ・スクール 学校運営協議会の様子

令和8年3月10日

成田市教育委員会

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

本城小学校

学校評価を基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



●学校評価の集計結果と考察から、昨年度と比較しての成果と課題について

学校では、授業参観が行われており、学校運営協議会委員の皆さんも、全学級の授業を参観し、児童の様子や先生方の関わり方、学習の積み重ねを把握しながら、一年間の取組の成果を見ることができるとなっております。

学校運営協議会では、学校評価の集計結果と考察を受けて、多くの項目で肯定的な評価で、昨年度と比較しても上回っていることを共通理解しました。成果のあった「挨拶」については、学校・保護者・地域の間関係がよくなり、児童も全体的に落ち着いて生活していることを共通理解しました。挨拶は基本なので、登下校時に見守りをしてきている地域の方に、自分から挨拶ができる児童が増えるとよいという意見が出されました。地域の方が登下校の見守りをしてきていることを周知し、顔見知りになることで自主的な挨拶につながるという意見も出されました。課題となっている「家庭学習・読書の習慣」については、家庭での様子や図書室の活用状況について共有し、図書室の環境整備や家庭との連携も必要ではないかという議論となりました。

さらに、放課後の遊び方や自転車の乗り方で気になる場面があると意見が出され、安全面においても共通指導し、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守っていけるとよいという話し合いになりました。

吾妻中学校

保護者アンケートを基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



●予餞会の様子について

予餞会の様子から、委員の方より、1・2年生の発表について「完成度が高い内容であった。」「動画を作成・編集し、伝えたいことがよくわかる内容であった。」「合唱も工夫した演出で気持ちがかもっていた。」との感想がありました。また、それぞれの代表のスピーチについても、原稿を見ないで思いを伝えており、今までの経験の積み重ねが、生徒の成長につながっているとの感想もありました。

●保護者アンケート集計結果から、昨年度と比較しての成果について

保護者アンケート集計結果を受けて、ほとんどの項目で肯定的な評価であり、特に「生徒一人ひとりに必要な支援を行っている。」「授業がわかりやすい。」の項目で、昨年度より大きく上回ったことを共通理解しました。オープンスクールを実施しての開かれた学校づくり、学校だよりを活用しての教育活動や生徒の様子の周知、学習場面での表現力の育成、いじめ撲滅運動を実施しての心の育成等、具体的な取組の成果についても共通理解が図られました。また、保護者の意見の中から、放課後の電話対応について話題となり、ツールの工夫ができるとよいのではないかと意見が出されました。

次年度の予定についても情報共有し、グラウンドの環境整備についての予定を確認するとともに、学校の環境整備については「地域で協力してくださる方がいれば声をかけてほしい。」という要望を受けて、学校支援地域本部との連携を進めていくことが期待できます。